

1 審査の対象

- (1) 一般会計歳入歳出決算
- (2) 簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- (3) 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 部落有財産特別会計歳入歳出決算
- (5) 下水道事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 訪問看護特別会計歳入歳出決算
- (7) 介護保険特別会計歳入歳出決算
- (8) 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- (9) 病院事業会計決算
- (10) 水道事業会計決算
- (11) 工業用水道事業会計決算
- (12) 老人保健施設事業会計決算

2 審査の期間

令和3年6月14日から7月30日まで（20日間）

3 審査の方法

審査に付された小国町各会計決算について、決算書及び関係帳簿、証書類をもとに、計数の正確性を調査するとともに、予算の執行又は事業の取り組みが適正かつ効率的に行われているかを主眼として関係課職員の説明を求め審査を実施した。

4 審査の結果

審査に付された各会計決算の計数は正確であり、予算の執行において、全般的に適正、妥当であると認められる。

審査にあたっての意見については後述する。

5 意見

一般会計では、歳入が町税収入となる法人町民税において、法人税率の引き下げや建設業を中心とした業績が大幅に低下し、減額となったが、個人町民税は製造業の景気が堅調であったことから給与所得が増加し増額となった。また、固定資産税においては、償却資産の増加により増額となり、税込全体では前年度比2.8%増の10億円を確保する結果となった。

地方交付税の普通交付税においては、単位費用の見直しや基準財政収入額の減少により増額となり、特別交付税も豪雪の影響により大きく増加した。国県支出金についても、新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金等が大幅に増加した。

この結果、歳入総額で8,119,963千円（対前年度比1,471,162千円、21.9%の増）、歳出総額が7,726,265千円（対前年度比1,486,557千円、23.8%の増）で収支差引473,698千円（実質収支447,109千円）の繰越しとなった。なお、他会計の状況については後述のとおりである。

令和2年10月に実施された国勢調査の速報値によれば、本町の人口は前回調査時対比で9.6%減の約7,100人となっており、人口減少による地域社会の維持、地域経済の活性化など当町を取り巻く環境はより一層厳しさを増し、伸び続ける社会保障関連経費や公共施設の長寿命化対策等も大きな課題となっている。このような状況の中で、施政方針に掲げている「白い森まるごとブランド構想」の実現に向けて各種主要施策に取り組まれたことは評価できる。新型コロナウイルス感染症において感染防止対策に取り組むとともに、停滞した町内経済の活性化に向けた各種事業を迅速に展開されたことも評価に値するものである。

今後は、アフターコロナを見据え、ニューノーマル時代に対応した「自然を愉しみ みんながわくわくする 白い森の国おぐに」の実現に向けた積極的な取り組みを推進されたい。

なお、事業執行にあたり次の点について特に意見を付すものである。

(1) 情報システム経費抑制等について

現在、多くの事務事業に業務システムが導入されており、今後も自治体DXに向けた新技術の活用に伴い、業務のシステム化が更に進んでいくことが予想される。

令和2年度においても、システム更新時における見積金額の妥当性を検証するために情報コンサルティング業務委託を行っているが、さらに支出額の妥当性（業務員の区分・単価・員数、諸経費・一般管理費の率等）を十分に精査した上で経費の節減にあたられたい。また、一部事業において予定価格の作成にあたり、積算根拠に欠ける事案が見受けられた。全庁で積算方法の情報共有化を図り、適正な事務の確保に努められたい。

(2) 企業会計への繰出金について

一般会計から企業会計への繰出金は605,443千円で前年度比60,317千円、11.1%の増となった。特に、病院事業会計への繰出金は421,948千円、老人保健施設事業会計への繰出金は121,995千円と一般会計からの他会計への繰出金に占める割合の5割を超え、財政を圧迫する要因となっている。とりわけ、町立病院は、令和2年度に事業費用の財源確保のため、82,300千円の企業債の借り入れを行っており、その経営維持のために一般会計繰入金を含めれば504,248千円もの財源確保が必要となっている。また、収支においても、9年連続の経常赤字となった。

しかしながら、町立病院及び介護老人保健施設は、地理的条件が不利な上に高齢化が進む本町において、町民の命と健康を守る上で極めて重要な施設である。当該施設は、一次医療機関であるとともに、地域包括ケアシステムの中核施設として町民の命と健康を守る重要な役割を担っていることから、その持続可能な経営に努められることを望む。

6 会計ごとの決算の概要

○一般会計・特別会計の決算状況

(1) 一般会計

(単位：円、%)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
令和2年度	8,199,963,425	7,726,265,954	473,697,471
前年度比較	1,471,161,638	1,486,557,870	△ 15,396,232
	21.86	23.82	△ 3.15
令和元年度	6,728,801,787	6,239,708,084	489,093,703

令和2年度一般会計決算は、歳入決算額8,199,963千円、歳出決算額7,726,265千円、歳入歳出差引残高473,698千円となった。

【歳入】

町税については、収納率は現年度課税分99.6%で前年度より0.5ポイント増え、また、滞納繰越分については、7.2%と前年度より5.1ポイント上回った。決算額は1,006,266千円で前年度を27,075千円、2.8%上回った。個人町民税(現年課税分)は、給与所得の増加により前年度と比べ20,960千円、7.0%の増額となったほか、法人町民税(現年課税分)は建設業を中心に業績が低下したことにより4,181千円、6.7%の減額となったが、町民税全体では17,870千円、5.0%の増額となった。また、固定資産税(現年課税分)は、償却資産の増加により7,672千円、1.5%の増額となった。地方交付税は3,291,667千円で、普通交付税において単位数の見直しや基準財政収入額の減少により交付額が増加したほか、豪雪の影響により特別交付税も大きく伸びたことから333,687千円、11.3%の増額となった。

国庫支出金は1,619,902千円で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの増加により、前年度と比べ3.5倍の1,152,430千円の大幅な増額となった。

寄附金は、ふるさと納税の寄付件数が減少したことから、総額148,104千円、前年度と比べ45,016千円、23.3%の減額となった。

町債は613,300千円で、道の駅機能拡充事業などに伴う過疎対策事業債の発行などにより、前年度と比べ44,200千円、7.8%の増額となった。

この結果、歳入総額は、前年度と比べ1,471,162千円、21.9%の増額となった。

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	調定額	収入済額	収入済額	増 減	率
町 税	939,780,000	1,067,419,255	1,006,265,813	979,190,913	27,074,900	2.77
地 方 贈 与 税	79,163,000	84,862,000	84,862,000	75,543,006	9,318,994	12.34
利子割交付金	1,000,000	728,000	728,000	713,000	15,000	2.10
配当割交付金	1,500,000	1,694,000	1,694,000	2,027,000	△ 333,000	△ 16.43
株式等譲渡所得割交付金	400,000	2,508,000	2,508,000	1,136,000	1,372,000	120.77
法人事業税交付金	6,850,000	6,086,000	6,086,000	0	6,086,000	皆増
自動車取得税交付金	0	0	0	9,449,665	△ 9,449,665	皆減
地方消費税交付金	170,000,000	175,444,000	175,444,000	144,209,000	31,235,000	21.66
環境性能割交付金	9,000,000	4,873,000	4,873,000	2,375,000	2,498,000	105.18
地方特例交付金	1,400,000	4,274,000	4,274,000	14,220,000	△ 9,946,000	△ 69.94
地 方 交 付 税	2,993,976,000	3,291,667,000	3,291,667,000	2,957,980,000	333,687,000	11.28
交通安全対策特別交付金	1,000,000	1,226,000	1,226,000	1,153,000	73,000	6.33
分担金及び負担金	11,303,000	14,026,540	10,709,280	18,177,600	△ 7,468,320	△ 41.09
使用料及び手数料	78,725,000	86,306,364	78,680,684	79,237,688	△ 557,004	△ 0.70
国庫支出金	1,658,058,000	1,619,901,691	1,619,901,691	467,471,711	1,152,429,980	246.52
県 支 出 金	340,191,000	299,906,908	299,906,908	260,700,972	39,205,936	15.04
財 産 収 入	53,234,000	45,762,195	45,762,195	54,675,925	△ 8,913,730	△ 16.30
寄 附 金	147,248,000	148,104,000	148,104,000	193,120,000	△ 45,016,000	△ 23.31
繰 入 金	518,303,000	286,741,160	286,741,160	476,719,786	△ 189,978,626	△ 39.85
繰 越 金	489,093,000	489,093,703	489,093,703	393,596,740	95,496,963	24.26
諸 収 入	28,149,000	29,424,241	28,135,991	28,004,781	131,210	0.47
町 債	678,100,000	613,300,000	613,300,000	569,100,000	44,200,000	7.77
合 計	8,206,473,000	8,273,348,057	8,199,963,425	6,728,801,787	1,471,161,638	21.86

【町税の収納状況】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度			前年度比較	
	調定額	決算額	収納率	調定額	決算額	収納率	増 減	率
町 民 税	387,136,186	377,793,660	97.59	369,467,408	359,923,811	97.42	17,869,849	4.96
個 人	328,503,786	319,641,560	97.30	306,984,208	297,590,611	96.94	22,050,949	7.41
現年課税分	319,110,189	318,288,585	99.74	299,945,271	297,328,269	99.13	20,960,316	7.05
滞納繰越分	9,393,597	1,352,975	14.40	7,038,937	262,342	3.73	1,090,633	415.73
法 人	58,632,400	58,152,100	99.18	62,483,200	62,333,200	99.76	△ 4,181,100	△ 6.71
現年課税分	58,482,400	58,152,100	99.44	62,383,200	62,333,200	99.92	△ 4,181,100	△ 6.71
滞納繰越分	150,000	0	0.00	100,000	0	0.00	0	-
固定資産税	607,529,856	557,403,740	91.75	597,866,801	547,909,845	91.64	9,493,895	1.73
固定資産税	567,422,656	517,296,540	91.17	557,559,901	507,602,945	91.04	9,693,595	1.91
現年課税分	517,466,300	514,398,520	99.41	512,326,600	506,726,700	98.91	7,671,820	1.51
滞納繰越分	49,956,356	2,898,020	5.80	45,233,301	876,245	1.94	2,021,775	230.73
固定資産等所在市町村 交付金及び納付金	40,107,200	40,107,200	100.00	40,306,900	40,306,900	100.00	△ 199,700	△ 0.50
軽自動車税	24,734,500	23,049,700	93.19	23,834,520	22,286,820	93.51	762,880	3.42
軽自動車税	24,734,500	23,049,700	93.19	23,834,520	22,286,820	93.51	762,880	3.42
現年課税分	23,176,000	22,927,200	98.93	22,650,200	22,274,800	98.34	652,400	2.93
滞納繰越分	1,558,500	122,500	7.86	1,184,320	12,020	1.01	110,480	919.13
軽自動車税環境性能割	756,100	756,100	100.00	300,700	300,700	100.00	455,400	151.45
町たばこ税（現年課税分）	46,113,013	46,113,013	100.00	46,643,887	46,643,887	100.00	△ 530,874	△ 1.14
特別土地保有税（現年課税分）	0	0	-	0	0	-	0	-
入湯税（現年課税分）	1,149,600	1,149,600	100.00	2,125,850	2,125,850	100.00	△ 976,250	△ 45.92
現 年 課 税 分	1,006,360,802	1,001,892,318	99.56	986,682,608	978,040,306	99.12	23,852,012	2.44
滞 納 繰 越 分	61,058,453	4,373,495	7.16	53,556,558	1,150,607	2.15	3,222,888	280.10
合 計	1,067,419,255	1,006,265,813	94.27	1,040,239,166	979,190,913	94.13	27,074,900	2.77

【歳 出】

総務費では、特別定額給付金給付事業などにより、前年度比729,883千円、60.8%の増額となった。また、新型コロナウイルス感染症対策経営支援事業などにより、商工費で前年度比149,749千円、43.8%の増額となったほか、町道橋の長寿命化の実施、豪雪による除雪費の増加により、土木費で前年度比246,709千円、28.0%の増額となった。

加えて、学校休校時のオンライン学習に対応するため、児童生徒にタブレット端末整備を行ったことなどより、教育費は前年度と比べて208,067円、41.0%の増額となった。

これらの結果、歳出総額は、前年度と比べ1,486,558千円、23.8%の増額となった。

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	執行率	支出済額	増 減	率
議 会 費	85,967,000	84,729,761	0	98.56	84,597,668	132,093	0.16
総 務 費	2,036,970,739	1,929,686,444	6,996,000	94.73	1,199,803,763	729,882,681	60.83
民 生 費	1,329,323,000	1,266,188,262	0	95.25	1,235,711,695	30,476,567	2.47
衛 生 費	649,777,000	619,229,258	5,693,000	95.30	611,336,319	7,892,939	1.29
労 働 費	7,570,000	7,405,614	0	97.83	7,556,408	△ 150,794	△ 2.00
農 林 水 産 業 費	283,729,200	253,947,379	10,979,000	89.50	206,437,660	47,509,719	23.01
商 工 費	507,693,000	491,467,732	0	96.80	341,718,934	149,748,798	43.82
土 木 費	1,226,072,000	1,129,250,317	58,822,000	92.10	882,541,071	246,709,246	27.95
消 防 費	297,797,400	288,860,855	4,466,000	97.00	289,899,033	△ 1,038,178	△ 0.36
教 育 費	751,037,100	715,934,881		95.33	507,868,380	208,066,501	40.97
災 害 復 旧 費	138,198,000	57,184,424	79,575,000	41.38	21,058,160	36,126,264	171.55
公 債 費	889,078,000	882,381,027	0	99.25	851,178,993	31,202,034	3.67
諸 支 出 金	10,000	0	0	0.00	0	0	-
予 備 費	3,250,561	0	0	0.00	0	0	-
合 計	8,206,473,000	7,726,265,954	166,531,000	94.15	6,239,708,084	1,486,557,870	23.82

(2) 簡易水道事業特別会計

(単位：円、%)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
令和2年度	79,042,650	26,613,572	52,429,078
前年度比較	13,791,878	11,725,276	2,066,602
	21.14	78.75	4.10
令和元年度	65,250,772	14,888,296	50,362,476

令和2年度簡易水道事業特別会計決算は、歳入決算額79,043千円、歳出決算額26,614千円、歳入歳出差引残高52,429千円となった。

歳入のうち使用料及び手数料は、11,488千円で、前年度に比べ281千円、2.5%の増額となった。

歳出では、更新工事等の実施により、前年度と比べて11,726千円、78.8%の増額となった。

【歳入】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	調定額	収入済額	収入済額	増 減	率
使用料及び手数料	11,864,000	12,248,709	11,487,662	11,206,641	281,021	2.51
繰 入 金	8,293,000	8,292,511	8,292,511	8,292,511	0	0.00
繰 越 金	82,000	50,362,477	50,362,477	45,751,620	4,610,857	10.08
諸 収 入	1,000	0	0	0	0	-
町 債	10,800,000	8,900,000	8,900,000	0	8,900,000	皆増
合 計	31,040,000	79,803,697	79,042,650	65,250,772	13,791,878	21.14

【歳出】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	執行率	支出済額	増 減	率
事 業 費	21,294,900	17,758,930	0	83.40	6,033,654	11,725,276	194.33
公 債 費	8,858,000	8,854,642	0	99.96	8,854,642	0	0.00
予 備 費	887,100	0	0	0.00	0	0	-
合 計	31,040,000	26,613,572	0	85.74	14,888,296	11,725,276	78.75

(3) 国民健康保険事業特別会計

(単位：円、%)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
令和2年度	848,451,811	741,792,525	106,659,286
前年度比較	62,204,820	96,930,265	△ 34,725,445
	7.91	15.03	△ 24.56
令和元年度	786,246,991	644,862,260	141,384,731

令和2年度国民健康保険事業特別会計決算は、歳入決算額848,452千円、歳出決算額741,793千円、歳入歳出差引残高106,659千円となった。

歳入のうち国民健康保険税は112,743千円で、前年度と比べ192千円、0.2%の減額となった。収納率は76.0%で前年度より0.7ポイント上昇した。

歳出では、保険給付費が459,230千円で、前年度と比べ6,285千円、1.4%の増額となった。

【歳入】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	調定額	収入済額	収入済額	増 減	率
国民健康保険税	108,925,000	148,344,299	112,743,369	112,935,100	△ 191,731	△ 0.17
使用料及び手数料	40,000	26,540	26,540	17,760	8,780	49.44
国庫支出金	2,118,000	1,980,000	1,980,000	131,000	1,849,000	1411.45
県支出金	569,437,000	542,400,000	542,400,000	548,047,000	△ 5,647,000	△ 1.03
財産収入	100,000	40,000	40,000	44,000	△ 4,000	△ 9.09
繰入金	88,096,000	47,730,000	47,730,000	48,196,742	△ 466,742	△ 0.97
繰越金	49,611,000	141,384,731	141,384,731	74,148,499	67,236,232	90.68
諸収入	3,025,000	2,147,171	2,147,171	2,726,890	△ 579,719	△ 21.26
合 計	821,352,000	884,052,741	848,451,811	786,246,991	62,204,820	7.91

【国民健康保険税の収納状況】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度			前年度比較	
	調定額	決算額	収納率	調定額	決算額	収納率	増 減	率
現年課税分	111,296,800	109,707,649	98.57	115,818,600	111,513,460	96.28	△ 1,805,811	△ 1.62
滞納繰越分	37,047,499	3,035,720	8.19	34,163,999	1,421,640	4.16	1,614,080	113.54
合 計	148,344,299	112,743,369	76.00	149,982,599	112,935,100	75.30	△ 191,731	△ 0.17

【歳 出】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	執行率	支出済額	増 減	率
総 務 費	8,918,000	8,107,583	0	90.91	6,049,865	2,057,718	34.01
保 険 給 付 費	517,580,000	459,230,257	0	88.73	452,945,139	6,285,118	1.39
国民健康保険事業費納付金	170,941,000	170,939,153	0	100.00	168,733,202	2,205,951	1.31
共同事業拠出金	1,000	225	0	22.50	130	95	73.08
保 健 事 業 費	16,270,000	12,235,592	0	75.20	13,250,762	△ 1,015,170	△ 7.66
基 金 積 立 金	100,000	100,000	0	100.00	100,000	0	0.00
諸 支 出 金	92,561,000	91,179,715	0	98.51	3,783,162	87,396,553	2310.15
予 備 費	14,981,000	0	0	0.00	0	0	-
合 計	821,352,000	741,792,525	0	90.31	644,862,260	96,930,265	15.03

(4) 部落有財産特別会計

(単位：円、%)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
令和2年度	102,934,331	1,959,515	100,974,816
前年度比較	△ 5,428,740	△ 3,602,211	△ 1,826,529
	△ 5.01	△ 64.77	△ 1.78
令和元年度	108,363,071	5,561,726	102,801,345

令和2年度部落有財産特別会計決算は、歳入決算額102,934千円、歳出決算額1,960千円、歳入歳出差引残高100,974千円となった。

【歳入】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	調定額	収入済額	収入済額	増 減	率
財産収入	116,000	116,279	116,279	116,279	0	0.00
繰越金	106,931,000	102,801,345	102,801,345	108,224,538	△ 5,423,193	△ 5.01
諸収入	43,000	16,707	16,707	22,254	△ 5,547	△ 24.93
合 計	107,090,000	102,934,331	102,934,331	108,363,071	△ 5,428,740	△ 5.01

【歳出】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	執行率	支出済額	増 減	率
総務費	107,090,000	1,959,515	0	1.83	5,561,726	△ 3,602,211	△ 64.77
合 計	107,090,000	1,959,515	0	1.83	5,561,726	△ 3,602,211	△ 64.77

(5) 下水道事業特別会計

(単位：円、%)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差 引 額
令和2年度	364,675,148	358,109,039	6,566,109
前年度比較	12,890,841	14,670,286	△ 1,779,445
	3.66	4.27	△ 21.32
令和元年度	351,784,307	343,438,753	8,345,554

令和2年度下水道事業特別会計決算は、歳入決算額364,675千円、歳出決算額358,109千円、歳入歳出差引残高6,566千円となった。

歳入のうち使用料及び手数料の決算額は69,823千円で、前年度に比べ1,133千円、1.7%の増額となった。

歳出のうち下水道管理費は58,770千円で、前年度と比べ4,784千円、7.5%の減額となり、下水道建設費は終末処理場長寿命化事業において管梁調査業務委託の実施などにより、87,192千円で前年度と比べ16,867千円、24.0%の増額となった。

【歳入】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	調定額	収入済額	収入済額	増 減	率
分担金及び負担金	1,740,000	3,530,000	3,530,000	3,395,000	135,000	3.98
使用料及び手数料	68,646,000	72,843,524	69,822,554	68,689,386	1,133,168	1.65
国庫支出金	32,120,000	32,124,000	32,124,000	26,125,000	5,999,000	22.96
繰入金	191,913,000	177,353,000	177,353,000	183,916,000	△ 6,563,000	△ 3.57
繰越金	300,000	8,345,554	8,345,554	7,458,921	886,633	11.89
町 債	77,900,000	73,500,000	73,500,000	62,200,000	11,300,000	18.17
諸 収 入	1,000	40	40	0	40	皆増
合 計	372,620,000	367,696,118	364,675,148	351,784,307	12,890,841	3.66

【歳 出】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	執行率	支出済額	増 減	率
下水道管理費	66,347,000	58,769,646	0	88.58	63,553,364	△ 4,783,718	△ 7.53
下水道建設費	92,699,000	87,192,200	0	94.06	70,324,999	16,867,201	23.98
公 債 費	213,074,000	212,147,193	0	99.57	209,560,390	2,586,803	1.23
予 備 費	500,000	0	0	0.00	0	0	-
合 計	372,620,000	358,109,039	0	96.11	343,438,753	14,670,286	4.27

(6) 訪問看護特別会計

(単位：円、%)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
令和2年度	85,112,530	83,391,460	1,721,070
前年度比較	3,386,323	2,950,504	435,819
	4.14	3.67	33.91
令和元年度	81,726,207	80,440,956	1,285,251

令和2年度訪問看護特別会計決算は、歳入決算額85,113千円、歳出決算額83,391千円、歳入歳出差引残高1,722千円となった。

歳入のうちサービス収入は利用件数の増加から64,576千円で、前年度と比べると510千円、0.8%の増額となった。また、一般会計繰入金は、前年度と比べると1,000千円、6.3%の増額となった。

歳出は、事業費において人件費が増加したことから、2,951千円、3.7%の増額となった。

【歳入】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	調定額	収入済額	収入済額	増 減	率
サービス収入	62,204,000	64,575,939	64,575,939	64,065,961	509,978	0.80
受託事業収入	971,000	969,840	969,840	1,049,590	△79,750	△7.60
諸 収 入	606,000	660,500	660,500	0	660,500	皆増
繰 入 金	21,744,000	17,000,000	17,000,000	16,000,000	1,000,000	6.25
繰 越 金	748,000	1,285,251	1,285,251	610,656	674,595	110.47
県 支 出 金	621,000	621,000	621,000	0	621,000	皆増
合 計	86,894,000	85,112,530	85,112,530	81,726,207	3,386,323	4.14

【歳出】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	執行率	支出済額	増 減	率
事業費	86,684,000	83,391,460	0	96.20	80,440,956	2,950,504	3.67
諸 支 出 金	12,000	0	0	0.00	0	0	-
予 備 費	200,000	0	0	0.00	0	0	-
合 計	86,896,000	83,391,460	0	95.97	80,440,956	2,950,504	3.67

(7) 介護保険特別会計

(単位：円、%)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
令和2年度	1,043,629,155	1,027,839,174	15,789,981
前年度比較	9,299,831	9,485,542	△185,711
	0.90	0.93	△1.16
令和元年度	1,034,329,324	1,018,353,632	15,975,692

令和2年度介護保険特別会計決算は、歳入決算額1,043,629千円、歳出決算額1,027,839千円、歳入歳出差引残高15,790千円となった。

歳入のうち保険料は193,320千円で、前年度と比べると456千円、0.2%の減額となった。

歳出のうち、介護給付費は961,308千円で、施設サービス給付に要する経費が増加したため34,781千円、3.8%の増額となった。

【歳入】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度	前年度比較	
	予算現額	調定額	収入済額	収入済額	増 減	率
保 険 料	186,859,000	195,862,620	193,320,220	193,775,840	△455,620	△0.24
使用料及び手数料	17,000	14,880	14,880	10,880	4,000	36.76
国庫支出金	269,923,000	264,104,946	264,104,946	259,602,441	4,502,505	1.73
支払基金交付金	271,529,000	270,261,310	270,261,310	255,422,688	14,838,622	5.81
県支出金	154,837,000	152,974,251	152,974,251	147,197,413	5,776,838	3.92
財産収入	1,000	9,000	9,000	7,000	2,000	28.57
繰入金	165,931,000	146,945,000	146,945,000	142,762,000	4,183,000	2.93
繰越金	15,975,000	15,975,692	15,975,692	35,543,502	△19,567,810	△55.05
諸収入	16,000	23,856	23,856	7,560	16,296	215.56
合 計	1,065,088,000	1,046,171,555	1,043,629,155	1,034,329,324	9,299,831	0.90

【介護保険料の収納状況】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度			令和元年度			前年度比較	
	調定額	決算額	収納率	調定額	決算額	収納率	増 減	率
現 年 度 分	192,927,200	192,756,230	99.91	194,461,940	193,718,310	99.62	△ 962,080	△ 0.50
滞 納 繰 越 分	2,935,420	563,990	19.21	2,169,020	57,530	2.65	506,460	880.34
合 計	195,862,620	193,320,220	98.70	196,630,960	193,775,840	98.55	△ 455,620	△ 0.24

【歳 出】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	執行率	支出済額	増 減	率
総 務 費	12,005,000	11,018,564	0	91.78	12,824,505	△ 1,805,941	△ 14.08
介 護 給 付 費	985,844,000	961,307,918	0	97.51	926,527,075	34,780,843	3.75
財 政 安 定 化 基 金 拠 出 金	2,000	0	0	0.00	0	0	-
基 金 積 立 金	14,105,000	14,104,000	0	99.99	20,487,000	△ 6,383,000	△ 31.16
地 域 支 援 事 業 費	50,097,000	39,452,051	0	78.75	42,193,955	△ 2,741,904	△ 6.50
諸 支 出 金	2,035,000	1,956,641	0	96.15	16,321,097	△ 14,364,456	△ 88.01
予 備 費	1,000,000	0	0	0.00	0	0	-
合 計	1,065,088,000	1,027,839,174	0	96.50	1,018,353,632	9,485,542	0.93

(8) 後期高齢者医療特別会計

(単位：円、%)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
令和2年度	131,186,814	112,612,750	18,574,064
前年度比較	19,920,891	19,624,769	296,122
	17.90	21.10	1.62
令和元年度	111,265,923	92,987,981	18,277,942

令和2年度後期高齢者医療特別会計決算は、歳入決算額131,187千円、歳出決算額112,613千円、歳入歳出差引残高18,574千円となった。

歳入うち保険料は77,511千円で、前年度に比べ7,689千円、11.0%の増額となった。

【歳入】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	調定額	収入済額	収納率	収入済額	増 減	率
保 険 料	77,747,000	78,378,400	77,510,500	98.89%	69,821,500	7,689,000	11.01
使用料及び手数料	2,000	8,480	8,480	100.00%	10,000	△1,520	△15.20
国庫支出金	99,000	99,000	99,000	100.00%	0	99,000	皆増
繰 入 金	35,408,000	34,763,647	34,763,647	100.00%	34,048,833	714,814	2.10
繰 越 金	397,000	18,277,942	18,277,942	100.00%	6,926,833	11,351,109	163.87
諸 収 入	74,000	527,245	527,245	100.00%	458,757	68,488	14.93
合 計	113,727,000	132,054,714	131,186,814	99.34%	111,265,923	19,920,891	17.90

【後期高齢者医療保険料の収納状況】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	執行率	支出済額	増 減	率
総 務 費	1,617,000	1,369,961	0	84.72	946,172	423,789	44.79
後期高齢者医療 広域連合納付金	111,940,000	111,205,489	0	99.34	92,034,709	19,170,780	20.83
諸 支 出 金	65,000	37,300	0	57.38	7,100	30,200	425.35
予 備 費	105,000	0	0	0.00	0	0	-
合 計	113,727,000	112,612,750	0	99.02	92,987,981	19,624,769	21.10

【歳出】

(単位：円、%)

項 目	令和2年度				令和元年度	前年度比較	
	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	執行率	支出済額	増 減	率
総 務 費	1,617,000	1,369,961	0	84.72	946,172	423,789	44.79
後期高齢者医療 広域連合納付金	111,940,000	111,205,489	0	99.34	92,034,709	19,170,780	20.83
諸 支 出 金	65,000	37,300	0	57.38	7,100	30,200	425.35
予 備 費	105,000	0	0	0.00	0	0	-
合 計	113,727,000	112,612,750	0	99.02	92,987,981	19,624,769	21.10

○企業会計の決算状況

(1) 病院事業会計

①収益的収支（税抜き）

(単位：円、%)

項 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	率
病院事業収益	1,055,249,558	1,009,124,155	46,125,403	4.57
医業収益	517,037,392	591,340,295	△ 74,302,903	△ 12.57
入院収益	248,040,379	287,877,923	△ 39,837,544	△ 13.84
外来収益	225,238,340	257,892,356	△ 32,654,016	△ 12.66
その他医業収益	43,758,673	45,570,016	△ 1,811,343	△ 3.97
医業外収益	527,211,266	417,783,860	109,427,406	26.19
受取利息配当金	10	10	0	0.00
補助金	56,158,812	669,607	55,489,205	8286.83
負担金交付金	421,948,000	380,000,000	41,948,000	11.04
長期前受金戻入	37,882,525	26,415,652	11,466,873	43.41
その他医業外収益	11,221,919	10,698,591	523,328	4.89
特別利益	11,000,900	0	11,000,900	皆増
その他特別利益	11,000,900	0	11,000,900	皆増
病院事業費用	1,068,571,435	1,089,467,742	△ 20,896,307	△ 1.92
医業費用	1,013,120,307	1,035,072,270	△ 21,951,963	△ 2.12
給与費	590,364,702	618,485,218	△ 28,120,516	△ 4.55
材料費	73,462,822	83,537,284	△ 10,074,462	△ 12.06
経費	250,216,517	244,046,271	6,170,246	2.53
減価償却費	97,491,018	85,299,246	12,191,772	14.29
資産減耗費	1,041,232	2,229,314	△ 1,188,082	△ 53.29
研究研修費	544,016	1,474,937	△ 930,921	△ 63.12
医業外費用	43,480,125	53,560,756	△ 10,080,631	△ 18.82
支払利息及び 企業債取扱諸費	15,293,954	16,800,123	△ 1,506,169	△ 8.97
雑損失	28,186,171	36,760,633	△ 8,574,462	△ 23.33
特別損失	11,971,003	834,716	11,136,287	1334.14
過年度損益修正損	971,003	834,716	136,287	16.33
その他特別損失	11,000,000	0	11,000,000	皆増
病院事業収益－病院事業費用 (プラス：純利益 マイナス：純損失)	△ 13,321,877	△ 80,343,587	67,021,710	△ 83.42
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	-
年度未処分利益剰余金 (マイナス：未処理欠損金)	△ 108,178,178	△ 94,856,301	△ 13,321,877	14.04

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えや長期投与の実施などにより入院患者数及び外来患者数が大幅に減少し、それに伴い入院収益及び外来収益も大幅な減少となった。

病院事業会計の収益的収支（消費税抜き）は、病院事業収益1,055,250千円、病院事業費用1,068,571千円、収益から費用を差し引いた純損失は13,321千円となり、当年度未処理欠損金は108,178千円となった。

医業収益は517,037千円で、入院収益が13.8%、外来収益が12.7%の減となり、前年度と比べ74,303千円、12.6%の減額となった。

医業費用は、経費や減価償却費が増となったが、給与費や材料費等が減となったため、1,013,120千円と前年度と比べ21,952千円、2.1%の減額となった。

一般会計負担金は421,948千円で、前年度に比べ41,948千円、11.0%の増額となった。

この結果、費用が収益を上回り、純損失は13,322千円となった。

②資本的収支（税込み）

（単位：円、％）

項 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	率
資本的収入	42,073,830	91,099,000	△ 49,025,170	△ 53.82
企 業 債	0	43,700,000	△ 43,700,000	皆増
出 資 金	2,073,830	43,500,000	△ 41,426,170	皆増
補助金・交付金	40,000,000	3,899,000	36,101,000	925.90
資本的支出	82,174,476	213,963,856	△ 131,789,380	△ 61.59
建 設 改 良 費	7,863,900	141,160,269	△ 133,296,369	△ 94.43
企 業 債 償 還 金	74,310,576	72,803,587	1,506,989	2.07
資本的収入－資本的支出	△ 40,100,646	△ 122,864,856	82,764,210	△ 67.36

※不足額40,100,646円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんされた。

令和2年度病院事業会計の資本的収支（消費税込み）において、収入は、昨年度取得した電子カルテシステム更新にかかる補助金40,000千円が精算交付となったほか、一般会計出資金2,074千円をあわせ42,074千円となった。支出は、飲用水・雑用水ポンプ更新や超音波洗浄機等購入による建設改良費で7,864千円、企業債償還金で74,311千円となり、総額82,174千円となった。

不足となった40,101千円は過年度分損益勘定留保資金で補てんされた。

(2) 水道事業会計

①収益的収支（税抜き）

(単位：円、%)

項 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	率
水道事業収益	102,145,981	101,853,105	292,876	0.29
営業収益	95,076,858	94,750,184	326,674	0.34
給 水 収 益	92,475,731	92,445,957	29,774	0.03
他会計負担金	408,332	425,422	△ 17,090	△ 4.02
その他営業収益	2,192,795	1,878,805	313,990	16.71
営業外収益	7,069,123	7,102,921	△ 33,798	△ 0.48
受取利息配当金	11,035	11,065	△ 30	△ 0.27
長期前受金戻入	7,058,088	6,993,937	64,151	0.92
雑 収 益	0	97,919	△ 97,919	皆減
特別利益	0	0	0	-
過年度損益修正益	0	0	0	-
その他特別利益	0	0	0	-
水道事業費用	113,071,770	107,305,247	5,766,523	5.37
営業費用	102,603,292	96,724,013	5,879,279	6.08
原 淨 水 及 び 配 給 水 費	22,870,580	18,621,702	4,248,878	22.82
総 係 費	18,038,424	17,146,651	891,773	5.20
減 価 償 却 費	61,543,750	60,868,720	675,030	1.11
資 産 減 耗 費	122,658	7,700	114,958	1492.96
その他営業費用	27,880	79,240	△ 51,360	△ 64.82
営業外費用	10,417,272	10,581,234	△ 163,962	△ 1.55
支 払 利 息	10,415,101	10,569,312	△ 154,211	△ 1.46
雑 支 出	2,171	11,922	△ 9,751	△ 81.79
特別損失	51,206	0	51,206	皆増
過年度損益修正損	51,206	0	51,206	皆増
水道事業収益－水道事業費用 (プラス：純利益 マイナス：純損失)	△ 10,925,789	△ 5,452,142	△ 5,473,647	100.39
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	-
年度未処分利益剰余金	385,732,087	396,657,876	△ 10,925,789	△ 2.75

令和2年度水道事業会計の収益的収支（消費税抜き）は、水道事業収益102,146千円、水道事業費用113,072千円、収益から費用を差し引いた純損失は10,926千円となった。また、当年度未処分利益剰余金当年度末残高は385,732千円となった。

営業収益は95,077千円で、前年度と比べ327千円、0.3%の増額となった。

営業費用は102,603千円で、漏水対応のための工事請負費や車両賃借料の増加により前年度と比べ5,879千円、6.1%の増額となった。

②資本的収支（税込み）

（単位：円、%）

項 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	率
資本的収入	10,840,000	18,866,400	△ 8,026,400	△ 42.54
工事負担金	1,540,000	1,166,400	373,600	32.03
企業債	9,300,000	17,700,000	△ 8,400,000	△ 47.46
資本的支出	23,103,660	27,945,986	△ 4,842,326	△ 17.33
建設改良費	11,610,500	20,327,760	△ 8,717,260	△ 42.88
資産購入費	330,000	0	330,000	-
企業債償還金	11,163,160	7,618,226	3,544,934	46.53
資本的収入－資本的支出	△ 12,263,660	△ 9,079,586	△ 3,184,074	35.07

※不足額12,263,660円は、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされた。

令和2年度水道事業会計の資本的収支（消費税込み）において、収入は、工事負担金、企業債の総額10,840千円となり、対前年度比で8,026千円、42.5%の減額となった。

支出は、長沢水源地施設遠方監視制御設備等更新工事、あけぼの地内消火栓更新工事を行い、23,104千円となり、前年度と比べ4,842千円、17.3%の減額となった。

不足となった12,264千円は、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされた。

(3) 工業用水道事業会計

①収益的収支（税抜き）

(単位：円、%)

項 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	率
工業用水道事業収益	106,686,585	102,163,295	4,523,290	4.43
営業収益	35,830,000	35,928,000	△ 98,000	△ 0.27
給 水 収 益	35,830,000	35,928,000	△ 98,000	△ 0.27
営業外収益	70,856,585	66,235,295	4,621,290	6.98
他会計負担金	61,500,000	56,842,000	4,658,000	8.19
長期前受金戻入	9,356,225	9,392,935	△ 36,710	△ 0.39
その他雑収益	360	360	0	0.00
特別利益	0	0	0	—
過年度損益修正益	0	0	0	—
工業用水道事業費用	102,760,593	102,398,784	361,809	0.35
営業費用	96,125,799	95,250,896	874,903	0.92
原 浄 水 及 び 配 給 水 費	55,657,790	54,861,645	796,145	1.45
総 係 費	251,281	254,438	△ 3,157	△ 1.24
減 価 償 却 費	39,946,416	40,010,457	△ 64,041	△ 0.16
資 産 減 耗 費	270,312	124,356	145,956	117.37
営業外費用	6,634,794	7,147,888	△ 513,094	△ 7.18
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	3,414,138	4,226,116	△ 811,978	△ 19.21
雑 支 出	3,220,656	2,921,772	298,884	10.23
特別損失	0	0	0	—
工業用水道事業収益－工業用水道事業費用 (プラス：純利益 マイナス：純損失)	3,925,992	△ 235,489	4,161,481	△ 1767.17
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	—
年度未処分利益剰余金	18,472,690	14,546,698	3,925,992	26.99

令和2年度工業用水道事業会計の収益的収支（消費税抜き）は、工業用水道事業収益106,687千円、工業用水道事業費用102,761千円、収益から費用を差し引いた純利益は、3,926千円となり、当年度未処分利益剰余金当年度末残高18,473千円となった。

営業収益は35,830千円でほぼ変わらない一方、営業外収益も他会計負担金が増額となったことから70,857千円となり、工業用水道事業収益全体では4,523千円、4.4%の減額となった。

営業費用については96,126千円で、維持管理委託費がやや増加したものの前年度と比べて875千円、0.9%の増額となった。

②資本的収支（税込み）

（単位：円、%）

項 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	率
資本的収入	0	0	0	-
資本的支出	28,966,324	31,408,606	△ 2,442,282	△ 7.78
建設改良費	2,530,000	2,233,000	297,000	13.30
資産購入費	0	0	0	-
企業債償還金	26,436,324	29,175,606	△ 2,739,282	△ 9.39
資本的収入－資本的支出	△ 28,966,324	△ 31,408,606	2,442,282	△ 7.78

※不足額28,966,324円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんされた。

令和2年度工業用水道事業会計の資本的収支（消費税込み）において、収入はなく、支出は、浄水場 No.2 排泥ポンプ更新工事などの実施により建設改良費は2,530千円、企業債償還金元金が26,436千円であり、前年度と比べ2,442千円、7.8%の増額となった。

不足額28,966千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんされた。

(4) 老人保健施設事業会計

① 収益的収支 (税込み)

(単位：円、%)

項 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	率
老健施設事業収益	354,605,789	348,333,092	6,272,697	1.80
施設事業収益	226,027,829	236,662,653	△ 10,634,824	△ 4.49
施設介護料収益	172,697,154	179,948,092	△ 7,250,938	△ 4.03
居宅介護料収益	48,437,989	52,117,272	△ 3,679,283	△ 7.06
居宅介護支援収益	610,940	558,860	52,080	9.32
その他事業収益	4,281,746	4,038,429	243,317	6.03
施設事業外収益	126,127,960	111,670,439	14,457,521	12.95
受取利息配当金	0	0	0	-
負担金交付金	121,995,000	108,284,000	13,711,000	12.66
長期前受金戻入	3,344,500	3,344,500	0	0.00
その他事業外収益	788,460	41,939	746,521	1780.02
特別利益	2,450,000	0	2,450,000	皆増
その他特別利益	2,450,000	0	2,450,000	皆増
老健施設事業費用	344,951,925	349,627,955	△ 4,676,030	△ 1.34
施設事業費用	335,723,902	342,257,832	△ 6,533,930	△ 1.91
給与費	186,336,115	193,174,053	△ 6,837,938	△ 3.54
材料費	12,971,395	14,338,200	△ 1,366,805	△ 9.53
経費	119,397,804	116,514,902	2,882,902	2.47
減価償却費	16,790,335	17,807,776	△ 1,017,441	△ 5.71
資産減耗費	194,923	252,481	△ 57,558	△ 22.80
研究研修費	33,330	170,420	△ 137,090	△ 80.44
施設事業外費用	6,778,023	7,370,123	△ 592,100	△ 8.03
支払利息及び 企業債取扱諸費	6,749,054	7,370,123	△ 621,069	△ 8.43
雑損失	28,969	0	28,969	皆増
消費税及び 地方消費税	0	0	0	-
特別損失	2,450,000	0	2,450,000	皆増
その他特別損失	2,450,000	0	2,450,000	皆増
老健施設事業収益－老健施設事業費用 (プラス：純利益 マイナス：純損失)	9,653,864	△ 1,294,863	10,948,727	△ 845.55
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	-
年度未処分利益剰余金 (マイナス：未処理欠損金)	27,869,328	18,215,464	9,653,864	53.00

令和2年度老人保健施設事業会計の収益的収支は、老健施設事業収益354,606千円、老健施設事業費用344,952千円、収益から費用を差し引いた純利益は9,654千円となり、当年度末処分利益剰余金当年度末残高は27,869千円となった。

施設事業収益は226,028千円で、新型コロナウイルス感染症対策として空床の確保を行ったことなどに伴う利用者数の減少および平均介護度が下がったことから、前年度と比べて10,635千円、4.5%の減額となった。

一般会計負担金は121,995千円で、前年度に比べ13,711千円、12.7%の増額となった。

施設事業費用は344,952千円で、給与費、材料費などの減少により、前年度と比べ4,676千円、1.3%の減額となった。

② 資本的収支（税込み）

（単位：円、%）

項 目	令和2年度	令和元年度	前年度比較	
			増 減	率
資本的収入	236,500	0	236,500	皆増
補助金・交付金	236,500	0	236,500	皆増
資本的支出	34,573,092	33,546,933	1,026,159	3.06
建設改良費	3,053,050	2,647,960	405,090	15.30
企業債償還金	31,520,042	30,898,973	621,069	2.01

資本的収入－資本的支出	△ 34,336,592	△ 33,546,933	△ 789,659	2.35
-------------	--------------	--------------	-----------	------

※不足額34,336,592円は、過年度分損益勘定留保資金及び当年度損益勘定留保資金で補てんされた

令和2年度老人保健施設事業会計の資本的収支において、収入は新型コロナウイルス関連交付金の237千円で、支出は建設改良費、企業債償還金で34,573千円となった。

不足となった34,337千円は過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補てんされた。